

中国の出稼ぎ労働者

澤田裕子

一九九二年以降、改革開放政策によって中国沿海部の都市や近郊の農村で工業化が進み、労働力への需要が高まるにつれ、これらの地域に農村部から出稼ぎ労働者が大量に流入した。中国国家統計局『二〇〇九年農民工監測調査報告』によると、二〇〇九年の出稼ぎ労働者の総数は全国で二億二九七八万人と推計される。ここでは当館の蔵書から中国の出稼ぎ労働者に関する最近の日本語資料を紹介したい。

秦堯禹著、田中忠仁、永井麻生子、王蓉美訳『大地の働哭—中国民工調査』(PHP研究所、二〇〇七年)は、農村からの出稼ぎ労働者の実態と彼らが直面する問題について考察している。著者は経済学者で、香港の管理顧問会社に勤める。本書は、現地調査や雑誌・新聞からの抜粋を通して、労働災害の深刻さ、社会保障の欠如、給料の未払い問題、子弟の教育問題、結婚や恋愛の悩みまでを浮き彫りにしている。出稼ぎ労働者が不安定な境遇で社会的弱者として

て冷遇されていることを憂える著者の視点が見える。

都市に住む出稼ぎ労働者が様々な制度差別に出遭う原因のひとつは、戸籍所在地のみならず、農民か否かという職業、社会的地位までを明らかにする戸籍管理制度にあるといわれている。中国の戸籍は農業戸籍と非農業戸籍に二分され、非農業戸籍保持者には都市での住居権、教育の機会、医療、食料配給等が保障される。一方、農業戸籍を持つ農民は、戸籍登録地での自給自足を求められ、わずかな社会保障しか与えられていない。

馮文猛著『中国の人口移動と社会的現実』(東信堂、二〇〇九年)は、中国の戸籍制度の特徴として、①子の戸籍が親によって決まる継承性、②社会保障等の有無による価値性、③人口移動を抑制する固定性、④供給物質による生活レベルの等級性を挙げている。本書は人口社会学の観点から、出稼ぎ労働者の生活実態、出稼ぎ先である流出地社会に及ぼす影響を分析し、戸籍登

録地を変更できない流動人口の子弟教育、社会保障の問題について考察している。

厳善平著『農村から都市へ—一億三〇〇〇万人の農民大移動』(岩波書店、二〇〇九年)は、出稼ぎ労働者の生活苦や過酷な就業実態の報告に偏らず、人口移動の歴史と改革開放時代、民工政策、三農問題を総合的に考察している。著者は、就業、社会保障、子供の教育、人権等の問題を指摘する一方、二〇〇六年三月に

國務院研究室課題組編『中国農民工調研報告』が中国政府の研究機関から出版されたことを高く評価し、出稼ぎ労働者の權益を護り、諸制度の改革を深化させていくという政府の立場が表明されたとしている。報告には、權益に関する主な問題として、①低賃金、遅配、不払い、②法定時間外の残業、③就労環境の危険性、④社会保障制度の不適用、⑤子女教育等が挙げられている。また、園田茂人著『不平等—国家中国—自己否定した社会主義のゆくえ』(中央公論新社、二〇〇八年)は、社会的資源の不均等な分配状況を説明する階層的観点から、学歴社会、都市・農村間格差、

男女格差、都市中間層等、様々な社会格差を概観している。著者によると、出稼ぎ労働者の多くは低学歴で、都市の3K労働に従事するが、都市内部の階層分化で生じた都市の低所得層と利害が重なり、出稼ぎ労働者の権利保護に影響しているという。さらに、彼らの子弟に対する義務教育の問題は深刻で、第二世代が誕生するなか、急を要すると指摘している。

南亮進、牧野文夫、羅欽鎮著『中国の教育と経済発展』(東洋経済新報社、二〇〇八年)は、教育と経済の相互依存関係に着目し、教育問題に対する経済学的分析を行っている。特に第四部で民工子弟学校を取り上げ、都市住民と出稼ぎ労働者の教育格差を論じている。民工子弟学校とは、政府の許可なしに出稼ぎ労働者が設立、運営している無認可学校で近年増加している。

出稼ぎ労働者の子女教育について、植村広美著『中国における「農民工子女」の教育機会に関する制度と実態』(風間書房、二〇〇九年)は、地域研究の観点から考察している。本書によると、義務教育制度は戸籍制度と連動してお

り、戸籍登録地を離れた子女には都市での教育機会が保障されていない。民工子弟学校の中には、出稼ぎ労働者の出身地政府の分校、または出稼ぎ先政府による指導や監督の下に運営される学校もあるが、子供の教育という切実な問題に対し、行政に頼らず自ら対策を講じた経緯があるという。制度上の差別で経済的、社会的地位の向上が困難な出稼ぎ労働者にとって、大学進学は貧困層を抜け出す唯一の手段であり、これが子女教育に意欲的な理由であると著者は見ている。多くの子女も生活向上のため、上級学校への進学を望んでいるという。著者は、彼らの努力に見合う教育機会が与えられることを願って本書を結んでいる。

本研究ウェブサイトにも中国の出稼ぎ労働者について、山口真美研究員による現地報告が掲載されている。(http://www.ide.go.jp/Japanese/Publish/Download/Overseas_Report/asah.html参照)これらの資料に見る現実には厳しいが、段階的改善を期待したい。 (さわだ ゆうこ/アジア経済研究所 図書館資料企画課)